

町文化財専門委員 石龍 豊美

新原海軍炭鉱の技師猪俣昇 (2)

広報平成27年7月号で、大河ドラマ「花燃ゆ」に須恵町ゆかりの野村望東尼が出るか、と書いたところ、早速出てきました(八月二日、第三一回)。私の予想よりも早かったのですが…。

高杉晋作が長州から筑前に逃れて平尾山荘(福岡市中央区)に匿われ、再起を期して長州に戻って決起します。これにより長州の藩論が一変、高杉が主役に躍り出ることになります。望東尼(真行寺君枝)は高杉のために準備した晴れ着を手渡すだけという地味な展開でしたが、今後クローズアップされることでしょう。

広報平成27年5月号、猪俣昇の論考紹介の続きです。

財団法人産業福利協会、昭和八年五月二十五日発行
『工場安全の叫び』(昭和七年十一月 全国産業安全大会報告 第一回)

海軍炭鉱に於ける安全運動と其の実績に就て
海軍技師 猪俣昇

*目次では「海軍燃料廠採炭部海軍技師」
一、緒言
(以下 続き)

本日御集りの方々には炭鉱に関係の無い方が大部分である様であるから、本論に入る前に炭鉱災害の特異性に就て簡単に述べる事とします。炭鉱は概して他の工業に比較して大規模の設備で行はれ単に地下から石炭を掘つて之を坑外に運び出すと云ふ直接作業に止まらず、大概の炭山では機械の修理工場を持ち発電所や副産物の製造工場さへ持つて居る所もあります。

従業員も数百、数千と働いて居るので災害の種類

五、機械は移動的のものが多く且時間的に不規則に運転すること。
等であります。今試に炭山の災害率と一般機械工業の其れと比較して見ると第一表に示す通りとなるのであります。

第一表 鉱夫並職工業務上死傷比較表
(調査期間 昭和三年四月一〜四年三月)

	負傷者實數			在籍者に対する罹災率%		
	男	女	計	男	女	計
礦夫	200,682 (383)	24,010 (45)	224,692 (428)	1,056.53 (2.02)	572.13 (1.07)	968.8 (1.85)
職工	166,166 (86)	90,289 (3)	256,455 (89)	718.82 (0.37)	331.30 (0.01)	509.14 (0.18)

備考 1. 括弧内ハ死亡
2. 調査期間中平均在籍人員數
男 女 計
礦夫 189,944人 41,965人 231,909人
職工 231,164 272,529 503,693

【第一表 鉱夫並(ならびに)職工業務上死傷比較表】

斯様に他の工業と比較にならぬ程多くの災害が伏在して居り死人や大怪我人が頻発するので世間では普通の間では働けぬ所と考へられ、前科者か無頼漢の寄り集りである様に考へられて居るのであります。又事実他の労働者に比して数年前迄は気も荒く所謂宵越の金は使はぬと云ふ風が漲つて居たのであります。従つて災害も大変災は別として個々の変死や重傷に対しては全く作業の性質に基く不可抗力の事として余り問題にされて居ないと云つた傾向があったのであります。

然るに歐洲大戦の影響は炭鉱界に異常の活況を呈し各炭鉱は鉱夫の募集に血眼になり競て賃金の値上待遇の改善等の好条件を以て之を勧誘すると云ふ具合で従て鉱夫の生活も頓に向上し我海軍炭鉱の如きは官業の故を以て種々の規則のために係員の待遇は之に追ひ付かず一時生活の程度も係員と鉱夫と全く逆転したと云ふ様な珍現象をさへ呈したのであります。

然し鉱夫の物質的生活向上は精神的にも向上の結果を表はしたことは見逃すべからざることで此の好況時代を一転機として炭鉱従業員は全く面目を一新しました。

特に近年経済界不況の深刻化と共に社会政策的諸法規の適用により著しく其の負担の増加を来し、事業主は之が緩和を計る為益々人的要素に重点を置き、其の結果不良分子は自然淘汰により炭鉱界より駆逐せられたる形となり、今日に於ては他の産業労働者と比較するも決して劣らざるに至り其の国體的訓練及教化に於ては私は寧ろ他の労働者以上ではないかと考へる次第であります。

従て時代の趨勢は従来単に不可抗力によるものとして比較的等閑視された災害も人道問題として将又経済上炭鉱経営の必然的問題として真剣に研究せらるゝに至り、茲に安全運動は他の合理化運動と共に一大勢力として時代を風靡し、福利協会並に鉱山協会に於ては一致協力して全国的に工場炭山の安全運動に努力せられ、刊行物に講演に又は講習会等に凡ゆる手段により指導せられ、且昭和三年には全国安全週間なるものが創始され、以来本年迄第五回を重ね益々好成績を挙げつゝ、あるは誠に御同慶に堪へ

から云つて数から云つても到底他の産業の比ではないのであります。

災害の種類から云ふと坑外作業で起る災害は普通機械工場で起る災害と殆んど同一で、此の坑外に於ける災害も充分注意して之れが防止を十全することに努力してゐることは勿論であります。坑内作業に於ける災害こそ全く特種のもので、吾々が一層心血を注いで之が防止に努めてゐる次第であります。

災害の種類として最も恐ろしいものは彼の瓦斯炭塵の爆発で、場合によりては数百の生霊を一度に奪ふことのある事実は皆様の御承知の通りであります。次は落磐で前者程一度に多数の生命を奪ふ事はないが、炭山に於ける災害の四〇%以上に及ぶ最も恐るべきものであります。次は炭車による災害で回数に於て落磐の次に位し、其の他爆薬、感電、工具等による災害が少くなく又稀ではありますが、出水の為不慮の災害を惹き起すこともあります。

其の他災害とは云ひ難きもワイル氏病、腸「チブス」、眼球震蕩症、鉱肺と云つた様な特種の病魔が潜んで居る。

炭山に於ける災害の種類としては主として上述の如きものであります。特に坑内に於ては次の如き事柄により災害惹起の動機が助長され従つて災害予防施設に於ても極めて困難を感じる次第であります。即ち

- 一、作業場所が暗いこと。
- 二、作業場所が狭隘であること。
- 三、作業場所が湿熱であること。
- 四、作業場の状態や位置が常に変化すること。

ない次第であります。

斯様な次第で安全運動も最高潮に達し、大多数の重要炭山に於ては安全委員会が組織され種々進歩した方法を以て安全運動が実施せられつゝ、あるのであります。

斯様な次第であるので現在に於ける海軍炭鉱の安全運動も常に活動してゐるのであります。今日申上げることは余り御参考になることは無いかも知れませんが、特に安全運動の黎明期に於て我海軍炭鉱が如何に努力し且如何に之が保持助長に努めつたかをお紹介致す次第であります。

二、海軍炭鉱の現状概略

扱て海軍炭鉱に於ける安全運動を御話する前に大體の状態を御紹介する必要があります。当鉱は明治二十二年の創業で以来終始一貫我海軍の経営にかゝり現在主なる作業所として三箇坑を有し、夫々第四坑、第五坑及第六坑と称して居りますが、何れも斜坑で動力は坑外の主として蒸汽坑内は凡て電気を用ひて居ります。

第五坑に発電所と修理工場とを有し選炭、洗炭及粉末燃焼装置等は各坑に備へて居ります。

当坑は坑内爆発瓦斯に対する指定炭山として石炭坑瓦斯炭塵爆発取締規則の適用を受けて居り、又坑内水は一部を除いては比較的少い方であり。稼行層は主なるもの三層であります。何れも夾石を多量に有する六尺以下の薄層で天井は概して悪く従て危険も多いのであります。(次号に続く)